

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:仏教がインドのどのような思想を背景に誕生し、どのような歴史の変容を被ったかを理解する。 テーマ:インドにおける仏教誕生とその後の変容形態について
	授業の概要 仏教が興起する以前に存在したインドの思想体系の概説を行った上で、仏教がインドにおいてどのような歴史的変容を被りながら展開して行ったかについて考察して行く。
学期	授業計画 1. 導入として、仏教が興起する以前のインド史をインダス文明の崩壊期から概説。 2. ヴェーダの宗教と思想的特徴について解説。 3. 幾つかの古ウパニシャッド文獻によって、ウパニシャッドの思想的特徴について理解を深める。 4. 反ヴェーダ的思想家たち(六師外道)の思想を紹介。 5. 第4回までの内容について、その習熟度を知るための小テストを行う。 6. 小テストを返却し、回答の解説と全体的な復習を行う。 7. 釈尊の誕生から成道までの歴史について解説する。 8. 釈尊の成道から入滅までの歴史について解説する。 9. 釈尊がいったい何にめざめ、どのような説法を行ったかについて解説する。 10. 仏教思想の要である「縁起」について、詳しく説明する。 11. 「縁起」を中心として、初期仏教思想の要について解説する。 12. 大乘諸派がいかなる歴史的背景をもとに誕生して行ったかについて解説する。 13. 大乘と初期仏教の思想的相違点について考察する。 14. 大乘アビダルマの思想的特徴について解説する。 15. 総まとめと意見交換。
	前期
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて、授業時に紹介する。
前谷彰	学生に対する評価 出席率(1回の欠席で3点減点)と1回の小テストと期末試験で評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:仏教が中国を経て日本に伝わり、その後どのような歴史の変容を被ったかについて理解する。 テーマ:中国・日本における仏教の展開について
	授業の概要 中国において仏教がどのような思想的特徴を持ち、日本に伝来された後にどのような歴史の変容を被りながら展開して行ったかについて考察して行く。
学期	授業計画 1. 中国仏教の特徴について、教判釈を中心にして解説する。 2. 同上 3. 日本への仏教伝来と、その様相について解説する。 4. 聖徳太子の仏教観とその政治的役割について解説する。 5. 第4回までの内容について、その習熟度を知るための小テストを行う。 6. 小テストを返却し、回答の解説と全体的な復習を行う。 7. 平安仏教の幕開けについて、最澄の業績を中心にして解説する。 8. 同上 9. 平安仏教の特徴を、弘法大師(空海)の業績を中心にして解説する。 10. 同上 11. 鎌倉仏教の特徴を、源信・法然・親鸞を中心にして解説する。 12. 鎌倉仏教の特徴を、源信・法然・親鸞を中心にして解説する。 13. 同上 14. 鎌倉仏教の特徴を、道元・栄西・日蓮を中心にして解説する。 15. 総まとめと意見交換を行う。
	後期
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて、授業時に紹介する。
前谷彰	学生に対する評価 出席率(1回の欠席で3点減点)、1回の小テストと期末試験で評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 日本文学(国文学)の特徴を学ぶ。
	授業の概要 日本文学とはどのようなものか。またどのような種類があるのかなど国文学に関するさまざまな項目について概説する。前期は韻文について概説する。できるだけ多くの作品にふれ、その本文の一部でも紹介し鑑賞したい。
学期	授業計画 第1回:ガイダンス —シラバスの説明、講義の進め方について、受講者への要望— 第2回:日本文学とはなにか、文芸と非文芸 第3回:和歌とは何か 第4回:万葉集の世界 第5回:勅撰集と古今集 第6回:新古今集の世界 第7回:私家集 第8回:連歌とは何か、水無瀬三吟百韻連歌 第9回:俳諧 第10回:芭蕉の世界 第11回:狂歌と川柳 第12回:現代の短歌 第13回:歌謡 第14回:歌論 第15回:連歌論と俳諧
	前期
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 井上豊『日本文学概論』笠間書院
下西忠	学生に対する評価 定期試験50%、授業中の小テスト30%、出席20%
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:散文の文学の特質を学ぶ テーマ:散文と文学理念
	授業の概要 日本文学とはどのようなものか。またどのような種類があるのかなど国文学に関するさまざまな項目について概説する。後期は散文について概説する。また、日本文学の理念、日本文学と風土とのかわりについてもふれたい。できるだけ多くの作品にふれ、その本文の一部でも紹介し鑑賞したい。
学期	授業計画 第1回:伝記物語と歌物語 第2回:日記文学 第3回:紀行文学 第4回:作り物語 第5回:歴史物語 第6回:軍記物語 第7回:お伽草子 第8回:随筆 第9回:説話と説話文学 第10回:評論(無名草子) 第11回:あはれ・をかし 第12回:幽玄 第13回:無常観 第14回:日本文学と風土 第15回:文学研究の方法
	後期
単位数	2
担当者	テキスト テキストについては教員が作成したものを使用する。適宜、作品の鑑賞のための本文を配布する。 参考書・参考資料等 講義中に指摘したい。
下西忠	学生に対する評価 出席20%、レポート50%、小テスト30%
	その他

科目名	漢文学概論Ⅰ
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：漢文で書かれた散文作品を読み、国語教師としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：漢文による散文作品の読解・鑑賞
授業の概要	志怪・伝奇小説の流れを汲む『聊斎志異』を読む。 和訳に基づいて漢文を訓読する訓練をする。 受講生には発表を求めるので、毎回予習が必要である。
授業計画	1. 「阿宝」を講読する。(1) 2. 「阿宝」を講読する。(2) 3. 「阿宝」を講読する。(3) 4. 「阿宝」を講読する。(4) 5. 「阿宝」を講読する。(5) 6. 「九山王」を講読する。(1) 7. 「九山王」を講読する。(2) 8. 「九山王」を講読する。(3) 9. 「九山王」を講読する。(4) 10. 「九山王」を講読する。(5) 11. 「遊化罽狐」を講読する。(1) 12. 「遊化罽狐」を講読する。(2) 13. 「遊化罽狐」を講読する。(3) 14. 「遊化罽狐」を講読する。(4) 15. 「遊化罽狐」を講読する。(5)
テキスト	授業中に資料を配付する。
参考書・参考資料等	携帯用の漢和辞典として『新字源』(角川書店)、あるいは『漢語林』(大修館書店)を使用するのが望ましい。
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする(『学生手帳』参照)。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。
その他	受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する場合がある。
学期	前期
単位数	2
担当者	南 昌 宏

科目名	漢文学概論Ⅱ
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：漢詩を読み、国語教師としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：漢詩作品の読解・鑑賞
授業の概要	『唐詩選』の注釈を読むことにより、訓読・読解の訓練をする。 受講生には発表を求めるので、毎回予習が必要である。
授業計画	1. 漢詩の基本解説 2. 「奉和初春幸太平公主南莊応制」を講読する。(1) 3. 「奉和初春幸太平公主南莊応制」を講読する。(2) 4. 「奉和初春幸太平公主南莊応制」を講読する。(3) 5. 「奉和初春幸太平公主南莊応制」を講読する。(4) 6. 「和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立春日贈韋侍御及諸公」を講読する。(1) 7. 「和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立春日贈韋侍御及諸公」を講読する。(2) 8. 「和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立春日贈韋侍御及諸公」を講読する。(3) 9. 「和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立春日贈韋侍御及諸公」を講読する。(4) 10. 「和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立春日贈韋侍御及諸公」を講読する。(5) 11. 「黃鶴樓」を講読する。(1) 12. 「黃鶴樓」を講読する。(2) 13. 「黃鶴樓」を講読する。(3) 14. 「黃鶴樓」を講読する。(4) 15. 「黃鶴樓」を講読する。(5)
テキスト	授業中に資料を配付する。
参考書・参考資料等	携帯用の漢和辞典として『新字源』(角川書店)、あるいは『漢語林』(大修館書店)を使用するのが望ましい。
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする(『学生手帳』参照)。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。
その他	受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する場合がある。
学期	後期
単位数	2
担当者	南 昌 宏

科目名	真言密教特殊講義A
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：いのちへの配慮とみまもりの態度を育成する テーマ：いのちのみまもりと具体的なケア
授業の概要	真言密教的観点を「生かせいのち」の標語から深く理解し、現実のいのちの様々な在り様への配慮とみまもりの実際を検討する。
授業計画	序 生かせいのち、ということ 1. 健やかないのち 2. 現代社会におけるいのち 3. いのちの現実 4. 生老病死と縁起説 5. いのちのつながり 6. 疎外感と無縁社会 7. つながりの中のいのちたち 8. 曼荼羅—おなじいのちを多様に生きる 9. いのちの諸相の認識と具体的な見まもり 10. (同上) 11. (同上) 12. (同上) 13. (同上) 14. まとめ 15. 学期末試験
テキスト	特に指定しない。参考資料を、配布する。
参考書・参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
学生に対する評価	各講時における発表と論議への参加態度を50% 定期試験の成果を50% とし、合計60/100をもって合格とする。
その他	
学期	後期
単位数	2
担当者	生 井 智 紹

科目名 真言密教特殊講義B-1 密教儀礼の理論と実習1 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
	授業の概要 『引導作法(二巻疏)』を基に、引導作法と葬儀に関する知識の習得を目的とする。
	授業計画 1. 葬送儀礼の歴史 2. 真言宗の葬儀 3. } 4. } 5. } 6. } 7. } 8. } 『引導作法(二巻疏)』の解説 9. } 10. } 11. } 12. } 13. } 14. } 15. }
	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集(上・下)』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
	学期
	前期
	単位数 2
	担当者 齋藤天譽
	学生に対する評価 出席重視
その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、区別して講義します。(詳細は開講時に)	

科目名 真言密教特殊講義B-2 密教儀礼の理論と実習2 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
	授業の概要 葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。
	授業計画 1. } 2. } 3. } 4. } 5. } 『引導作法(二巻疏)』の解説 6. } 導師と職衆の心得 7. } 高野山の寺家の葬儀 8. } 戒名について 9. } 葬儀に用いる梵字と書き様(塔婆等) 10. } 葬儀に関する質疑応答 11. } 12. } 13. } 14. } 15. }
	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集(上・下)』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
	学期
	後期
	単位数 2
	担当者 齋藤天譽
	学生に対する評価 出席重視
その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。(詳細は開講時に説明します)	

科目名 密教特殊講義A	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：参詣曼荼羅にみられる庶民信仰の様相に関する理解を深めることを目的とする。 テーマ：参詣曼荼羅を読み解く
	授業の概要 参詣曼荼羅は庶民の信仰と密接に結びついている。那智参詣曼荼羅・伊勢参詣曼荼羅・高野山参詣曼荼羅などの参詣曼荼羅により、それぞれの曼荼羅に散りばめられた伝承や意味について検証する。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 那智参詣曼荼羅① 3. 那智参詣曼荼羅② 4. 那智参詣曼荼羅③ 5. 那智参詣曼荼羅④ 6. 伊勢参詣曼荼羅① 7. 伊勢参詣曼荼羅② 8. 伊勢参詣曼荼羅③ 9. 伊勢参詣曼荼羅④ 10. 高野山参詣曼荼羅① 11. 高野山参詣曼荼羅② 12. 高野山参詣曼荼羅③ 13. 高野山参詣曼荼羅④ 14. 高野山参詣曼荼羅⑤ 15. 総括
	テキスト 担当者が用意する
	参考書・参考資料等 西山克 『聖地の想像力』法蔵館 『社寺参詣曼荼羅』
	学期
	前期
	単位数 2
	担当者 中村本然
	学生に対する評価 出席点20%・平常点20%・レポート60%とし、総合的に評価する。
その他	

科目名 密教特殊講義B 〔永田良一寄附講座〕 密教と現代	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代社会における僧侶の課題 テーマ：現代の社会の中で、僧侶には何が求められているのでしょうか?この講義ではさまざまなゲスト講師から、多面的にこの問題を考察します。
	授業の概要 スピリチュアルケア(池口講師、永田講師)、現代地域社会(高野山まちづくり研究会)、地域医療(紀和病院)、僧侶の社会活動(童楽寺、高野山足湯隊)など、さまざまなテーマを論じます。
	授業計画 1. オリエンテーション(山脇) 2. 現代地域社会の問題(高野山まちづくり研究会) 3. 現代地域社会の問題(高野山まちづくり研究会) 4. 現代地域社会の問題(高野山まちづくり研究会) 5. 現代地域社会の問題(高野山まちづくり研究会) 6. 現代地域社会の問題(高野山まちづくり研究会) 7. 地域医療の問題(紀和病院) 8. 地域医療の問題(紀和病院) 9. 現代版寺子屋活動(童楽寺) 10. 現代版寺子屋活動(童楽寺) 11. 池口講師特別講義 12. 永田講師特別講義 13. 密教ボランティア(高野山足湯隊) 14. 密教ボランティア(高野山足湯隊) 15. まとめ(山脇) *講義の日程は、あらためて掲示します。
	テキスト
	参考書・参考資料等
	学期
	後期
	単位数 2
	担当者 山脇雅夫
	学生に対する評価 平常点30点、学期末レポート70点
その他 ※この講座は、(株)新日本科学代表取締役社長 永田良一氏の寄附に基づく「スピリチュアルケアの教育振興」の一環として開講されます。	

科目名	仏教の到達目標及びテーマ 到達目標：インド・チベットに展開した仏教文化について、チベットに伝存する仏教美術を基盤にしてその理解を深める テーマ：チベット仏教の美術
仏教学特殊講義 A	授業の概要 インドで成立した仏教がアジア全域に展開した軌跡は、経典という文字媒体を通じてその足跡が辿られることが多い。しかしながらそこに説かれる情景描写および教説などは、文字だけからは十分に理解されない場合が多い。殊、密教経典においてその傾向がより顕著である。授業ではこのような点についてその理解をより深めるために、チベットに伝存する仏教美術作品を主にもちいる。インドから継承された様式、題材、画法などをひとつずつ明らかにして、その展開について足跡をたどる。
学期	授業計画 1. 授業の梗概 2. インド仏教思想史と造形の展開—仏塔をめぐって— 3. インド仏教思想史と造形の展開—仏像の誕生— 4. インド仏教思想史と造形の展開—密教の美術— 5. インド仏教美術の伝播—ネパール、カシュミール、チベット— 6. チベット仏教美術の梗概 7. 西チベットとラダックのカシュミール様式 8. 中央チベットのネパール様式 (1) 9. 中央チベットのネパール様式 (2) 10. 中国仏画様式との接近 (1) 11. 中国仏画様式との接近 (2) 12. 中国仏画折衷様式の展開 13. チベット寺院の壁画美術 (1) 14. チベット寺院の壁画美術 (2) 15. テスト
後期	
単位数	2
担当者	テキスト 授業で指示します。
加納和雄	参考書・参考資料等 授業で指示します。
	学生に対する評価 授業中の発表など30%、出席30%、テスト40%
	その他

科目名	仏教の到達目標及びテーマ 到達目標：呂 新吾著『呻吟語』『人間論』を読む。 テーマ：『呻吟語』における「呻吟」とは、「病気に苦しみながら発する沈痛なうめき声」という意味で、人間とはどうあるべきか、人生をどう生きるべきかなど、われわれにとって切実な問題を様々な角度から解き明かしたものである。従って、本書の購読を通して、スピリチュアルケアの現場で要求される豊かな感性と人間性を養ってもらいたいと考えている。
仏教学特殊講義 B	授業の概要 『呻吟語』『人間論』は56項目から成っているため、1回の授業で4・5項目を取り上げ、順次様々な観点から解説を加えながら進めてゆく。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 『呻吟語』という書物についての簡単な説明を行う。 2. 2回目以降は1講義につき、4・5項目の購読と解説を行いながら13回で終了する予定。 3. 残りの1・2回の授業では学習した内容を踏まえて、自由に意見交換を行う。
前期	
単位数	2
担当者	テキスト オリエンテーションの際にテキストのコピーを配布する。
前谷彰	参考書・参考資料等 必要に応じて授業時に紹介する。
	学生に対する評価 出席率と授業時の態度とで総合的に評価する。筆記試験もレポートもなし。
	その他

科目名	仏教の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教における心の論じ方を学び、併せて、現代の脳/心の哲学における論点との接点・乖離点についての知見を習得すること テーマ：仏教における心の論じ方
仏教学特殊講義 C	授業の概要 心について、ブッダの教えの中では、直き心として、あるいは、日々刻々に移り変わる心として説き示されることがある一方で、(死後)上昇して行く心について説かれることがある。そして、ブッダ以後には、無心と呼ばれる心が、あるいは、覚りを求める心が、教義解釈上の問題となることがある。これらの心を巡る諸議論を考察する。
学期	授業計画 1. 導入 2. ブッダの言葉の伝承(『経』)から学ぶ「心」 3. (同上、『タンマバダ』『スッタニパータ』から) 4. アビダルマ(『論』)において分析された「心」 5. (同上、『阿毘達磨俱舍論』から) 6. (同上) 7. 大乗論書において考察された「心」 8. (同上、『無心』から捉える「心」の二側面) 9. (同上、『唯心』という捉え方) 10. (同上、『唯識』という捉え方) 11. 生命倫理の分野における脳/心についての諸論点 12. 脳神経倫理の分野における脳/心についての諸論点 13. 心について考えている心(という言語表現)の問題について 14. (同上) 15. 学年末試験
後期	
単位数	2
担当者	テキスト 室寺『ブッダの言葉・大師の言葉から学ぶ「大悲」の教え』 (高野山大学夏季生涯学習講座 in 高野山 2006 テキスト)
室寺義仁	参考書・参考資料等 授業の中で、適宜、紹介する。
	学生に対する評価 学年末の論述式試験(60%)に、授業という学術的な対話の場での議論内容・プレゼンテーション(40%)によって評価する。
	その他

科目名	仏教の到達目標及びテーマ 到達目標： ①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける。 ②チベットの仏像(彫刻・絵画等)を見たときに、その名称がすぐには言えるようになる。 ③インド・チベット仏教史の流れを理解する。 テーマ：インド・チベット密教の図像資料の研究
インド・チベット文化特殊講義	授業の概要 チベット探検で知られる河口慧海がチベット・ネパールから持ち帰った図像資料などに基づいて、インド・チベット仏教美術の主題と表現形式を学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解説と解説の練習を行う。あわせて、インド・チベット仏教史の流れについて説明し、基礎的な知識の整理を行う。
学期	授業計画 1. イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか 2. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式 1 3. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式 2 4. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式 3 5. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式 4 6. 河口慧海コレクション 1 7. 河口慧海コレクション 2 8. 河口慧海コレクション 3 9. 『三百尊図像集』 1 10. 『三百尊図像集』 2 11. 『三百尊図像集』 3 12. 『三百尊図像集』 4 13. 『三百尊図像集』 5 14. 『三百尊図像集』 6 15. まとめ
後期	
単位数	2
担当者	テキスト 『河口慧海請来チベット資料図録』 佼成出版社
奥山直司	参考書・参考資料等 頼富本宏・下泉全曉『密教仏像図典 インドと日本の仏たち』 人文書院
	学生に対する評価 出席点20%(遅刻3回で1欠席と見なす)、小レポートを含む授業参加状況40%、期末レポート40%
	その他

科目名	仏教美術特殊講義 A 仏教美術特殊講義 A
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：仏像の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像の造形—その姿と意味
授業の概要	仏像は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。講義では各尊の姿や手印・持物の意味を考察し、その信仰の歴史などについて概観する。
授業計画	1. 釈迦如来 2. 薬師如来 3. 阿弥陀如来 4. 毘盧遮那仏と大日如来 5. 弥勒仏と弥勒菩薩 6. 観音菩薩 7. 変化観音～十一面観音・千手観音 8. 変化観音～空罽索観音・馬頭観音など 9. 文殊・普賢菩薩 10. 地藏・虚空蔵菩薩 11. 不動明王 12. 愛染明王 13. 天部の守護神～四天王 14. 天部の守護神～吉祥天など 15. 天部の守護神～閻魔など
学期	前期
単位数	2
担当者	
授業に対する評価	出欠席を最も重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。
その他	仏教美術特殊講義B（後期）を履修・聴講することが望ましい。

科目名	仏教美術特殊講義 B 仏教美術特殊講義 B
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：技法・構造を学ぶことで、仏像に親しみ正しく理解することを到達目標とする。 テーマ：仏像の造形—構造と様式
授業の概要	講義では、各時代の仏像の様式・材質・技法などの各論について概説する。
授業計画	1. 様式論～飛鳥時代 2. 様式論～白鳳時代 3. 様式論～天平時代 4. 様式論～平安時代前期 5. 様式論～平安時代後期 6. 様式論～鎌倉時代（運慶様式） 7. 様式論～鎌倉時代（快慶様式） 8. 様式論～鎌倉時代（宋元風） 9. 構造・技法論～金属 10. 構造・技法論～塑像 11. 構造・技法論～脱乾漆造 12. 構造・技法論～木心乾漆造 13. 構造・技法論～一木造 14. 構造・技法論～寄木造 15. 仏像の衣裳
学期	後期
単位数	2
担当者	
授業に対する評価	出欠席を最も重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。
その他	仏教美術特殊講義A（前期）を履修・聴講することが望ましい。

科目名	日本文化特殊講義 日本文化特殊講義
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：児童文学の魅力 テーマ：児童文学の特質
授業の概要	一流の作家は意外にも児童文学の作品を書いている。それらを紹介しながら児童に対する作家の「まなざし」を気づきたい。また、近頃は小学唱歌（詩）を知らない人が多いという。そこで日本人の心の原点ともいえるべき、懐かしい小学唱歌を今一度再検討したい。
授業計画	1. ガイダンス 児童文学とはどのようなものか 2. 一房の葡萄（有島武郎） 3. 蜘蛛の糸（芥川龍之介） 4. 赤とんぼと小学唱歌 5. 故郷と小学唱歌 6. カチカチ山と花咲翁（武者小路実篤） 7. 赤い蠟燭と人魚（小川未明） 8. 魔法（坪田譲治） 9. ごん狐など（新美南吉） 10. 湖水の女（鈴木三重吉） 11. 十五夜お月さん等（野口雨情） 12. でたらめ経と赤い部屋（宇野浩二） 13. 風の又三郎と注文の多い料理店（宮沢賢治） 14. 少年探偵団（江戸川乱歩） 15. 児童文学の魅力
学期	後期
単位数	2
担当者	
授業に対する評価	出席30%、レポート（70%）
その他	

科目名	中国文化特殊講義 A 中国文化特殊講義 A
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：中国における思想・哲学を研究するために必要な基礎的知識・語彙・方法を修得することを到達目標とする。 テーマ：漢文大系『論語』を読む。
授業の概要	テキストは著名な注釈の要点をまとめたものである。輪読形式による口頭発表で漢文の訓読をしてもらおう。受講生は予習が必要である。また、分からない言葉はすべて調べて理解するよう努めなければならない。
授業計画	1. 學而時習之章を読む。 2. 其為人也孝弟章を読む。 3. 巧言令色章を読む。 4. 吾日三省吾身を読む。 5. 道千乘之國章を読む。 6. 弟子入則孝章を読む。 7. 賢賢易色章を読む。 8. 君子不重章を読む。 9. 慎終追遠章を読む。 10. 夫子至於是邦也章を読む。 11. 父在觀其志章を読む。 12. 禮之用章を読む。 13. 信近於義章を読む。 14. 君子食無求飽章を読む。 15. 貧而無諂章を読む。
学期	後期
単位数	2
担当者	
授業に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。
その他	受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名 中国文化特殊講義B	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 1. 『説文解字』を学ぶことにより古代文字の基礎知識を修得し、その内容の講読力を向上させる。 2. 東洋文化の根幹である漢字に興味を持ち、中国文化へ目を向ける第一歩とすることを到達目標とする。 テーマ：許慎『説文解字』とその背景及びその講読と篆書体の基礎的知識の修得。
	授業の概要 〔漢〕許慎『説文解字』は文字を系統的に分析し、字源の考察をした最古の文字学の専門書である。本年は特に許慎『説文解字』とその背景、またその部首（第六巻までの予定）の基礎的知識の修得。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 漢字の変遷と『説文解字』前世 3. 『説文解字』の背景 4. 「六書」について（その1） 5. 「六書」について（その2） 6. 説文部首 第一巻 7. 説文部首 第二巻 8. 説文部首 第三巻（その1） 9. 説文部首 第三巻（その2） 10. 説文部首 第四巻 11. 説文部首 第五巻（その1） 12. 説文部首 第五巻（その2） 13. 説文部首 第六巻 14. 復習・まとめ 15. テスト
	学期
	前期
	単位数
	2
	担当者
	野田
	悟

科目名 真言宗典講義Ⅰ 1-1 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
	授業の概要 密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問いを追求する古典の名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典（漢文）を味わいながら、ゆっくりと読み進めてゆく。
	授業計画 1. 概論 2. 「二経一論八箇の証文」 3. 「即身成仏の偈頌」 4. 「二頌八句の経釈と科分」 5. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(1) 6. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(2) 7. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(3) 8. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(4) 9. 「四曼荼羅各離れず」(1) 10. 「四曼荼羅各離れず」(2) 11. 「四曼荼羅各離れず」(3) 12. 「四曼荼羅各離れず」(4) 13. 「四曼荼羅各離れず」(5) 14. 「四曼荼羅各離れず」(6) 15. テスト
	学期
	前期
	単位数
	2
	担当者
	加納
	和雄

科目名 真言宗典講義Ⅱ 1-2 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
	授業の概要 『即身成仏義』についての概論と前期の復習をはじめに行い、前期で扱った範囲をカバーして、テキストの続きをさらに読みすすめる。『即身成仏義』を読了した後は、弘法大師空海の即身成仏思想の体系を再確認し、要点の把握に努める。
	授業計画 1. 概論と前期の復習。 2. 〃 3. 「重重帝網なるを即身と名づく」(1) 4. 「重重帝網なるを即身と名づく」(2) 5. 「法然に薩般若を具足す」(1) 6. 「法然に薩般若を具足す」(2) 7. 「法然に薩般若を具足す」(3) 8. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」(1) 9. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」(2) 10. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」(3) 11. 「円鏡力の故に、実覚智なり」(1) 12. 「円鏡力の故に、実覚智なり」(2) 13. 弘法大師空海の即身成仏思想の体系 (1) 14. 弘法大師空海の即身成仏思想の体系 (2) 15. テスト
	学期
	後期
	単位数
	2
	担当者
	加納
	和雄

科目名 真言宗密教講読演習 2-2 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』およびその関連経論に説かれる思想的および図像学的特徴を理解する テーマ：『理趣経』とその周辺
	授業の概要 真言宗の常用経典「理趣経」は、『大日経』や『金剛頂経』と並ぶ真言密教の根本宗典である。特に近年、サンスクリット本が刊行されたため、その内容がより明確に理解できるようになった。授業ではサンスクリット本および不空による漢訳を中心にして、『理趣経』原典を読みすすめる。同時に、『理趣経』に関連する周辺の文献を扱いながら、その理解を深める。
	授業計画 1. 導入 2. 『理趣経』の全体像 3. 『理趣経』の曼荼羅 4. 密教における『理趣経』の位置づけ 5. 『理趣経』の読解(一) 6. 『理趣経』の読解(二) 7. 『理趣経』の読解(三) 8. 『理趣経』の読解(四) 9. 『理趣経』の読解(五) 10. 『理趣経』の読解(六) 11. 『理趣経』の周辺(一) 12. 『理趣経』の周辺(二) 13. 『理趣経』の周辺(三) 14. 『理趣経』の周辺(四) 15. 総括
	テキスト 授業で指示します。
	参考書・参考資料等 松長有慶、『理趣経講読』、大法輪閣。 Toru Tomabechi, <i>Adhyardhasatika Prajnaparamita</i> , Vienna/Beijing, 2009.
	学生に対する評価 授業中の発表など30%、出席30%、テスト40%
学期 後期	担当者 加納和雄
単位数 2	その他 出席者はサンスクリット語初級を終えていることが望ましい。

科目名 密教講読演習 2-1 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言密教の聖典に対する基本的知識の養成 テーマ：『金剛頂経』と金剛界マンダラ
	授業の概要 『大日経』と『金剛頂経』は真言密教の根本聖典で、古くから「両部の大経」と呼ばれ尊崇されてきた。本講ではこのうち『金剛頂経』を取り上げ、それがどのような内容をもつものなのか、経典の主要部分を読み進めるとともに、とくにその中に説かれる金剛界マンダラについて解説し、真言密教の基本聖典に対する理解を深めたい。
	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. 『金剛頂経』の成立と伝播 3. 『金剛頂経』の構成と内容 4. 序分(通序) 5. 序分(別序) 6. 正宗分(五相成身観) 1 7. 正宗分(五相成身観) 2 8. 正宗分(五相成身観) 3 9. 正宗分(三十七尊出生) 1 10. 正宗分(三十七尊出生) 2 11. 正宗分(三十七尊出生) 3 12. 正宗分(三十七尊出生) 4 13. 金剛界マンダラの遺品 1 14. 金剛界マンダラの遺品 2 15. 試験
	テキスト 松長有慶他『金剛頂経・理趣経他』(新国訳大藏経 密教部4) 大蔵出版
	参考書・参考資料等 宮坂有勝監修『金剛頂経』上中下(『真言宗教相全書』第五～七巻) 四季社 頼富本宏『金剛頂経入門』大法輪閣
	学生に対する評価 試験70%、平常点30%
学期 前期	担当者 乾仁志
単位数 2	その他

科目名 仏教講読演習	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルケアの実際を現代日本の精神的状況から捉える。 テーマ：近代西洋における精神の危機的状況を東洋の精神的状況への深い理解にもとづいて論ずるユングの視点を通じて、現代日本におけるスピリチュアルケアの最適な方向を考えたい。
	授業の概要 曼荼羅、ヨーガ、道教など、心理学的関心からのユングの東洋精神への取り組みには、近代西洋における精神的状況への危機感が大きな影響を与えている。現代日本の精神的状況を見ると、人類の危機に対してユングが残した文明論的警告は、大いに傾聴すべきことと思われる。彼の関連の論考を解説しながら、現代日本人にとってもっともふさわしいスピリチュアルケアのあり方を考えていくことにしたい。
	授業計画 1. 序 なぜユングなのか、 2. 序 なぜ東洋なのか 3. ヨーガと西洋 (Yoga and the West) 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 東洋的瞑想の伝統と心理学 (The Psychology of Eastern Meditation) 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. むすび 15. 試験
	テキスト 必要に応じて資料配布 C.G.Jung, <i>Psychology and the East</i> , The Collected Works of C.G.Jung, Princeton Univ.Press 1978.
	参考書・参考資料等 参考にすべきものは、必要に応じて適宜紹介。
	学生に対する評価 各講時における発表と論議への参加態度を50% 定期試験の成果を50% とし、合計80/100をもって合格とする。
学期 後期	担当者 生井智紹
単位数 2	その他 英文でテキストを読むことから、西洋の諸概念と東洋の精神を比較考察することも演習したい。

科目名	仏教美術講読演習A 授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教美術に親しみ、正しい美術史を理解することを到達目標とする。 テーマ：日本仏教美術史—仏像に親しむ（飛鳥時代～天平時代）—
学期	前期
単位数	2
担当者	
緒方啓介	授業の概要 寺院のご本尊として祀られる仏像は崇高な礼拝の対象である一方、歴史的文化遺産としての意義も重要視されなければならない。講義では飛鳥時代から天平時代の仏像の歴史を信仰や技法・作風などの特性を踏まえて概観する。 授業計画 1. 飛鳥大仏の源流 2. 法隆寺銅造釈迦三尊像 3. 百済観音と救世観音 4. 半跏思惟像は弥勒菩薩？ 5. 飛鳥仏と白鳳仏の違い 6. 薬師寺薬師三尊像について 7. 当麻寺白鳳仏にみる時代背景 8. 興福寺阿修羅像造像の経緯 9. 東大寺法華堂諸像をめぐる謎 10. 東大寺大仏造立の経緯 11. 鑑真と唐招提寺の仏像 12. 悔過の風習と禮像 13. 空海の拝した天平密教像 14. 天平仏の技法（塑造） 15. 天平仏の技法（乾漆造） テキスト 参考資料を配布する。 参考書・参考資料等 講義中に指示する。 学生に対する評価 出欠席を最も重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。 その他 仏教美術講読演習B（後期）を履修・聴講することが望ましい。

科目名	仏教美術講読演習B 授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教美術に親しみ、正しい美術史を理解することを到達目標とする。 テーマ：日本仏教美術史—仏像に親しむ（平安時代～鎌倉時代）—
学期	後期
単位数	2
担当者	
緒方啓介	授業の概要 寺院のご本尊として祀られる仏像は崇高な礼拝の対象である一方、歴史的文化遺産としての意義も重要視されなければならない。講義では平安時代から鎌倉時代の仏像の歴史を信仰や技法・作風などの特性を踏まえて概観する。 授業計画 1. 神護寺本尊の怒りの詠 2. 東寺講堂諸像の神秘性 3. 室生寺本尊像に見る絵画性 4. 留学僧の請来仏 5. 渡岸寺十一面観音像の魅力 6. 末法到来と浄土教の隆盛 7. 平等院阿弥陀如来像の拜み方 8. 藤原仏にみる平安貴族の雅 9. 中尊寺金色堂の諸像 10. 運慶様式確立の背景 11. 東大寺南大門金剛力士像の造立経緯 12. 俊乗房重源と快慶 13. 庶民仏教が求めた仏像 14. 鎌倉新仏教の美術 15. 円空と木喰の仏像 テキスト 参考資料を配布する。 参考書・参考資料等 講義中に指示する。 学生に対する評価 出欠席を最も重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。 その他 仏教美術講読演習A（前期）を履修・聴講することが望ましい。

科目名	日本文化講読演習 授業の到達目標及びテーマ 到達目標：旅にかけた古代の人のこころを理解する テーマ：旅と文学
学期	前期
単位数	2
担当者	
下西忠	授業の概要 古典文学に描かれた旅を題材とする作品を紹介し、その特質を理解する。講義形式が中心となるが、受講生にも一部発表してもらうことになる。古典の魅力について旅を通して学ぶ。 授業計画 1. ガイダンス いろいろな旅 2. 伊勢物語（東下り） 3. 土佐日記 4. 更級日記 5. 海道記 6. 東関紀行 7. 十六夜日記 8. 平家物語（重衡の海道下り） 9. 西行の和歌（四国への旅・1） 10. 西行の和歌（四国への旅・2） 11. 芭蕉（高野山への旅） 12. 芭蕉（奥の細道） 13. 寺社参詣 14. 東海道中膝栗毛 15. 総括 一日本人の旅の特質— テキスト 教員が用意する。 参考書・参考資料等 講義の中で指摘する。 学生に対する評価 出席30%、レポート（70%） その他

科目名	中国語文化講読演習 授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文を読むために必要な語彙・知識を修得し、専門的な文章を読むのに慣れることを到達目標とする。 テーマ：『文選』を読む。
学期	前期
単位数	2
担当者	
南昌宏	授業の概要 テキストは「原文」「訓読」「翻訳」「語注」「解説」から成る。この授業では、テキストの漢字すべてにふりがなを付けながら読み、分からない言葉はすべて調べて理解するよう努める。受講生は必ず予習が必要である。 授業計画 1. 「孔文學薦禰衡表」を読む。(1) 2. 「孔文學薦禰衡表」を読む。(2) 3. 「孔文學薦禰衡表」を読む。(3) 4. 「孔文學薦禰衡表」を読む。(4) 5. 「孔文學薦禰衡表」を読む。(5) 6. 「諸葛孔明出師表」を読む。(1) 7. 「諸葛孔明出師表」を読む。(2) 8. 「諸葛孔明出師表」を読む。(3) 9. 「諸葛孔明出師表」を読む。(4) 10. 「諸葛孔明出師表」を読む。(5) 11. 「曹子建求自試表」を読む。(1) 12. 「曹子建求自試表」を読む。(2) 13. 「曹子建求自試表」を読む。(3) 14. 「曹子建求自試表」を読む。(4) 15. 「曹子建求自試表」を読む。(5) テキスト 新釈漢文大系『文選』のコピーを配布する。 参考書・参考資料等 『大漢和辞典』、『アジア歴史事典』、『中国学芸大事典』 学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。出席は点数化しない。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。 その他 受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名	漢字Ⅱ	
	Ⅰ	Ⅱ
漢字Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
学期	前期	
通年	前期	
単位数	1	
	2	
	1	
担当者	木本滋久	
科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標： テーマ：【前期】今年書体を限定せず、篆・隸・楷・行・草書体及び木簡の中から一つの法帖を自分で選択し、実習する。その法帖の形、線の特徴をつかみ、実際に上手に表現できるように努める。 【後期】前期とは異なった書体の法帖を一冊選び、その法帖の形、線などの特徴が、実際に腕で表現できるように努める。	
	授業の概要 臨書中心の実技の授業である。自宅でも実習してきた臨書作品を授業中に添削し、参考に指導者が目の前で書いてみせる。できれば、篆書体、隸書体、草書体、木簡など、日頃あまり勉強しない書体に目を向けて、個人指導を中心に据えて授業を進める。	
	授業計画 【前期】 1. 授業の方針、法帖の選び方、どんな授業を展開していくのかを説明した後、各自が法帖を選ぶ。 2. } 3. } 法帖の臨書 4. } 5. } 6. } 7. } 8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 9. } 10. } 法帖の臨書 11. } 12. } 13. } 14. } 15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 【後期】 1. 各自が法帖を選ぶ。指導者はその相談に応じ共に考えながら法帖を選ぶ。 2. } 3. } 法帖の臨書 4. } 5. } 6. } 7. } 8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 9. } 10. } 法帖の臨書 11. } 12. } 13. } 14. } 15. 後半実習してきた分	
	テキスト 各自が二玄社あるいは別の法帖から1冊選ぶ。	
	参考書・参考資料等	
	学生に対する評価 2回のレポート、出席回数、授業態度などで評価する。	
	その他	

科目名	かなⅡ	
	Ⅰ	Ⅱ
かなⅡ	Ⅰ	Ⅱ
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
学期	前期	
通年	前期	
単位数	1	
	2	
	1	
担当者	山本圭子	
科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：【前期】かなⅠの基本の上に個性豊かな古筆の原寸大臨書をし、それをもとに創作すること。 【後期】各自が選んだ古筆を拡大し、自己表現の技術を身につけること。 テーマ：【前期】三色紙の中から各自一つを選び臨書をくり返し、その特徴をとらえること。 【後期】古筆を基本とした自己表現の方法を見つける。	
	授業の概要 【前期】かなⅠおよびそれと同程度のかな経験者を対象にかなの技術知識のより上達をめざす。ちらし書きの名品としての古筆を知り、各自よりひかれるもの一つをえらび練習する。臨書から創作へと進む。 【後期】決定した古筆を形式をかえて拡大臨書から創作へ、そしてより大きな料紙へと移っていき、これが自分独自の自己表現の形だと納得するまで練成する。	
	授業計画 【前期】 1. 講義日標、概要の解説、書歴アンケート 2. 三色紙の解説、各自の古筆を決定する。 3～10. 選んだ古筆を原寸大臨書・小レポートを提出 ・古筆名の由来解説 ・料紙解説 11～15. 各古筆の雰囲気を出して創作する 【後期】 1～4. 各自選んだ古筆を大色紙大に拡大臨書。添削指導 5～8. 半横紙大に拡大臨書する。添削指導 9～12. 大色紙または半横紙大に創作(古筆の雰囲気を残して) 13～15. 今まで習った作品のうち一つを全横紙または半切に拡大作品を創る。	
	テキスト 三色紙	
	参考書・参考資料等 古筆全般	
	学生に対する評価 出席重視。1/3欠席者は評価しません。 臨書・創作各50%。	
	その他 粘り強く地道にくり返し練習することが大事です。 全授業出席の気持ちが必要です。	

科目名	哲学2(別)	
	Ⅰ	Ⅱ
哲学2(別)	Ⅰ	Ⅱ
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
学期	後期	
後期	後期	
単位数	2	
	2	
担当者	山脇雅夫	
科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標： テーマ：デカルトとパス	
	授業の概要 近代哲学の父と呼ばれるフランスの哲学者デカルトと、プラグマティズムの創始者であるパスの思想の紹介を通して、哲学的思考の典型を学びます。	
	授業計画 1. 哲学とは何か？ 2. 方法とは何か？ 3. デカルトの時代 4. デカルトの生涯 5. デカルト哲学の歴史的意義 6. 方法的懐疑 7. モリヌクス問題 8. 身体への疑い 9. 数学への疑い 10. 神と法—宗教的世界観— 11. 死後の世界 12. 社会と宗教 13. 現代における宗教 14. 「信念の固め方」 15. プラグマティズム格言	
	テキスト プリントを配布。	
	参考書・参考資料等 デカルト『方法序説』(白水社)	
	学生に対する評価 期末テスト65点、小テスト20点、出席点15点	
	その他	

科目名	宗教学方法論	
	Ⅰ	Ⅱ
宗教学方法論	Ⅰ	Ⅱ
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
学期	後期	
後期	後期	
単位数	2	
	2	
担当者	藤田光寛	
科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：我々の身近な日本の宗教現象を学ぶことを通して、宗教学の視座と研究方法を理解すること。 テーマ：宗教学研究法を学ぶ	
	授業の概要 指定テキストのトピックスにもとづいて講義する。	
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 日本人と宗教 3. 聖と俗 4. 季節の祭 5. 通過儀礼 6. 信仰治療 7. 修行—心と身体— 8. タブーから戒律へ 9. 道徳と宗教 10. 神と法—宗教的世界観— 11. 死後の世界 12. 社会と宗教 13. 現代における宗教	
	テキスト 柳川啓一『宗教学とは何か』(法蔵館)1,890円 (本学生協で購入すること)	
	参考書・参考資料等 ①藤本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫) ②島藺進 編『宗教学キーワード』(有斐閣、2006年)など	
	学生に対する評価 期末の筆記試験(60%)、出席(20%)小試験(20%)によって評価する。	
	その他 毎回、指定テキストや参考文献に目を通して授業に出席することが基本的な条件です。授業ではノートを取り、整理をしておいて下さい。毎回休まずに出席すること。 担当者のメールアドレスはfujita@koyasan-u.ac.jpですから、質問等があれば遠慮無くこれを利用して下さい。	